

令和7年度第1回益城町地域公共交通会議

【報告事項1】

「益城・西原空港ライナー（仮称）」の検討にかかる 調査結果および運行方針について

益城町地域公共交通会議



調査概要

「益城・西原空港ライナー（仮称）」の検討にあたり、移動実態や公共交通に関する移動ニーズを把握するため、下記の調査を実施しました。

調査名	調査の目的	調査の概要
①益城町住民の空港利用・移動実態に関するアンケート調査	益城町住民の空港利用実態を把握すると共に、空港を利用する際の移動手段やその選択理由、移動に対するニーズ等を把握する。	● 調査対象：益城町民で空港を利用されている方 ● 調査期間：R7.2.17～R7.3.14 ● 調査方法：インターネット回答 ● 周知方法：町HP、チラシ全戸回覧、広報誌（3月号）掲載 ● 回答件数：340件
②空港利用者の移動実態に関するアンケート調査	空港利用者のうち、特に益城町を訪問する人の移動手段や移動に対するニーズ等を把握する。	● 調査対象：空港利用者と益城町を訪問したことがある方 ● 調査期間：R7.2.17～R7.3.14 ● 調査方法：インターネット回答 ● 周知方法：町HP、空港でのチラシ設置、空港でのイベントでお知らせ ● 回答件数：5件
③熊本テクノ・リサーチパーク内事業者通勤実態調査	熊本テクノ・リサーチパーク内の事業者に勤務している従業員のうち、益城町から通勤している人の実態と通勤手段、移動に対するニーズ等について把握する。	● 調査対象：熊本テクノ・リサーチパーク内企業等連絡協議会会員企業にお勤めの方 ● 調査期間：R7.3.26～R7.4.18 ● 調査方法：熊本テクノ・リサーチパーク内企業等連絡協議会事務局（熊本産業支援財団）に依頼し、各事業所から回答 ● 回答件数：11 / 20 事業所
④東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス通学等実態調査	東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパスの学生・職員のうち、益城町から通学している人の実態と通学手段、移動に対するニーズ等について把握する。	● 調査対象：東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパスの学生・職員 ● 調査期間：R7.3.13～R7.3.31 ● 調査方法：東海大学事務局に依頼

※西原村では、R6年度に地域公共交通計画策定にかかる住民アンケート調査を実施。

調査結果まとめ

調査で移動実態や交通ニーズについて、下記のような回答がありました。

調査	調査で把握した主な移動実態	調査で把握した交通ニーズ
①益城町住民の空港利用・移動実態に関するアンケート調査	● アンケート回答者の86%は年間1回以上（多くは「1回～5回」、阿蘇くまもと空港の利用あり。目的は「飛行機搭乗（私用／仕事）」と「送迎」が多い。 ● 空港を利用した旅行日数は「2泊3日」が最多。3泊以上の長期旅行をする人も多い。 ● 空港を利用する時間は、午前9時～10時頃が最も多い。午前7時台、午後8時以降にも利用者あり。 ● 移動手段は9割以上が「自家用車」。30分未満で空港に到着する人が多いが、高額のコストをかけている人も多く存在する。 ● 「自家用車」を選択する理由は、「唯一の選択肢」「いつも利用する」ため。また、「所要時間が短い」ことを意識している人も存在。	● 益城町内から阿蘇くまもと空港への直通バスの運行 ● 「のるーとUMEらいん」の停留所追加、運行範囲の拡大 ● （将来的な）鉄道やモノレールなどの大規模交通インフラの整備
②空港利用者の移動実態に関するアンケート調査	—	● 阿蘇くまもと空港から益城町内への直通バスの運行（500円以内での運行）
③熊本テクノ・リサーチパーク内事業者通勤実態調査	● 熊本テクノ・リサーチパークに、益城町から通勤している人は、テクノ・リサーチパーク従業員の1割程度。 ● 益城からの通勤者は、ほぼ全員が自家用車で通勤。	● 通勤に利用できるバス路線（益城町内～テクノ・リサーチパーク）の拡充 ● 阿蘇くまもと空港を利用した出張や、空港を利用してテクノ・リサーチパークに訪れるお客様が利用できる、空港～テクノ・リサーチパーク間の公共交通の整備 ● テクノ・リサーチパーク周辺で気軽に使える軽移動手段の整備
④東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス通学等実態調査	● 益城町方面からの通学・通勤者は10名程度（全体の2%）。 ● 益城町での学外活動は1件。	● 益城町へのバス路線がない ● 公共交通は、距離で運賃が高くなってしまうこと、時間が合わないこと、バス停まで遠いこと、などを懸念

運行方針

今回の調査を通じて得られた移動実態や公共交通に対するニーズおよび西原村の住民アンケート調査を踏まえ、「益城・西原空港ライナー（仮称）」について、以下のような方針で検討を進めていきたいと考えています。

調査で把握した実態・ニーズ

「益城町～阿蘇くまもと空港」直通バス運行へのニーズ
（特に役場周辺・熊本高森線～空港）

「熊本テクノ・リサーチパーク～阿蘇くまもと空港」における公共交通導入へのニーズ

益城町から熊本テクノ・リサーチパークへの通勤者の存在
→朝夕は通勤での利用も想定される

「益城町～阿蘇くまもと空港」の利用時間は分散
→日中は必要とされる時間のバラツキが想定される

町民からの「のるーとUMEらいん」の拡充に対するニーズ

午前7時台、午後8時以降の空港利用も多い

「500円未満なら利用を検討する」という声あり

空港までの移動に500円以上費用をかける人も多い

「益城・西原空港ライナー（仮称）」の方針

運行区域については、「木山交通広場～テクノ・リサーチパーク/臨空テクノパーク～阿蘇くまもと空港～東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス～西原村（体育館）」にて検討

運行形態については、**朝夕は定時制、日中は予約型（オンデマンド型）**を基本的な方向として検討
※オンデマンド型については、「のるーとUMEらいん」の拡充を基本として考える

運行時間については、**朝6時～夜8時**にて検討

料金設定については、**500円前後**の金額にて検討

※本事業は、西原村との共同事業として、令和7年10月からの実証運行を計画しています。

事業の実施に向けて、次回の益城町地域公共交通会議（8月開催予定）にて運行内容等をご確認いただく予定です。